

## 占冠村ヒグマ市街地侵入対応訓練（令和6年度第1回）実施報告（普及用）

**概要：** 本村において続発するヒグマの市街地侵入に対し、村の対応能力を高め、またその対応方法について関係機関と共有を図るため、具体的な想定のもと実地で模擬対応を行う訓練を計画し、令和6年6月12日に実施した。現在の対応体制の実情を示すものとして実施状況を記録するとともに課題を探り、また今後の方向性の検討に供するため以下の報告を取りまとめる。

**日時：** 令和6年6月12日（水） 13:20～16:20

**場所：** 占冠村字中央の占冠村コミュニティプラザ、総合センター、農村公園、宮下橋、青巖橋、村営スキー場を含む区域屋外および占冠村コミュニティプラザホール（地図参照）

### 訓練対象行動の骨子

ヒグマ市街地対応で出動する場合、その目的は、当面の被害を防ぐことを主眼に行動し、当該個体の行動に応じて捕獲の可能性も見込まれる場合と、引き続き危険性が認められ、すでに捕獲の方針を決めた個体に対し、その出現を好機と捉えて捕獲の達成を企図する場合がある。さらにこれらに対応途中で見直されることも想定される。「ヒグマ対応」とひと括りにせず、その場の行動目的を明確に共有することが肝要である。さらに警察官職務執行法第4条第1項の適用の是非、人家稠密地の回避に係る判断も懸案事項となる。

本訓練においては、こうした複雑な想定要素に対し総合的判断を速やかかつ連続的に行うことを旨とし、現実的な対応動作を確認した。訓練では初期対応の中核となる占冠村農林課と村の捕獲従事者を動員した。また占冠駐在所員との連携を確認すべく富良野警察署との合同主催とした。実際の対応においては事態に応じて周辺の関係機関や住民の行動も要求されるが、今回はそれらへの伝達手順の確認に留め、動員は省いた。また訓練では実銃を携行せず、模擬銃を用いた。

**参加者：** 総員 53名

1. ヒグマ対応実務配置（連絡本部・警戒・捕獲）13名
  - ・ 占冠村役場農林課～（6）
    - 農林課長、農業担当主幹 1 主事 1、林業振興室係長 1 主任 1、野生鳥獣専門員（銃） 1
  - ・ 占冠村捕獲従事者（銃） 6
  - ・ 富良野警察署占冠駐在所員 1
2. 訓練支援配置（訓練評価支援・記録活動・観覧者接遇等）7名
  - ・ 占冠村役場
    - 農林課会計年度職員 1、林業振興室地域おこし協力隊員 1、企画商工課広報担当 1

- ・富良野警察署占冠駐在所長
  - ・酪農学園大学～ 野生鳥獣管理学研究室講師 1、所属学生 2
3. 視察・観覧・取材等 (33名)
- ・占冠村～ 副村長、教育長
  - ・北海道警察旭川方面本部～ 富良野警察署地域課課長、方面本部生活地域課 2
  - ・北海道上川総合振興局環境生活課長および自然環境係技師 1
  - ・北海道森林管理局上川南部森林管理署 占冠双珠別森林事務所 担当森林官等 4
  - ・富良野広域連合富良野消防署占冠支署 支署長
  - ・富良野市担当者 2、上富良野町担当者 2、中富良野町担当者 1、南富良野町担当者 3
  - ・一般観覧者 ～ 村内在住 5、札幌市民 1
  - ・報道取材関係～ 3社 合計 7名

**訓練実施経過の概要** (本項中[符号]は地図中の位置を示す)

1. 事前説明 (受付開始 13:00 開始 13:20 終了 13:55)

占冠村コミュニティプラザホール 進行：野生鳥獣専門員

- ・主催者挨拶 (農林課長)、参加者紹介(全員)
- ・担当より概要説明 (村の基本的な対応方針、一般的な注意点、過去の対応事例)
- ・観覧者への注意事項伝達

2. 実地訓練 第一部 (開始 14:05 終了 15:10)

14:05 目撃通報

警察署へ一般のヒグマ発見者から電話通報

(訓練では通報はヒグマの酪農大教員、受信はホールの駐在所員携帯電話で代えた)

14:10 目撃情報

占冠駐在所より占冠村農林課へヒグマの目撃情報

(訓練ではホールの駐在所員携帯電話からホールの村農林課長携帯電話で代えた)

情報内容：6月12日14時頃、道の駅裏側の土手に体長1m程度の黒色のヒグマ1頭を確認。

農林課長より野生鳥獣専門員および職員3名に出動を指示、連絡本部(課長ほか1名)は各関係機関(教育委員会、福祉子育て支援課、企画商工課、総務課)へ連絡。連絡本部は捕獲従事者を電話呼集。村防災メールの速報発信を指示

初動配置～ 指揮班：野生鳥獣専門員＋林務職員1 (林務車)  
警戒班：農林課職員2 (林務車)

教育委員会より処置方針返答 → 中央小、占中は集団下校  
福祉子育て支援課より処置方針返答 → 保育所、小規模多機能施設共に施設内に利用者を待機してもらうように指示。職員は事務所待機。

- 14 : 15 警戒班、農村公園駐車場[c]に現着。目視探索を行うもののヒグマを発見せず  
農村公園周辺[b]にて指揮班、占冠駐在署到着。ヒグマ確認。  
警戒班は堤防宮下橋付近[f]へ移動
- 14 : 20 専門員より本部へ無線 捕獲従事者呼集結果照会 本部前進を具申  
本部前進位置（コミプラ裏側）[a]に到着。捕獲従事者集結。班割と無線の配分。  
専門員より各局へ現況と当面の対応方針を伝達。捕獲従事者の初期配置を指示

①指揮班（野生鳥獣専門員+従事者 AB）目標正面[b]

②AM 班 A（従事者 AM+従事者 SS）農協倉庫先[d]

③TH 班（従事者 TH+従事者 KI）宮下橋南詰[f]

④NJ 班（従事者 NJ）浄水センター横土手道[e]

- 14 : 25 堤防宮下橋に警戒班到着[f]。付近の警戒に当たるも住民の方も自宅に入っている  
模様。釣り人もおらず警戒を継続。
- 14 : 35 AM 班配置完了[d] 堤防下ハンノキ付近にヒグマを発見。
- 14 : 40 TH 班宮下橋[f]に配置完了、専門員より各局へ配置完了を確認
- 14 : 41 ヒグマが初期位置[イ]から下流方向[ロ]へ移動開始。専門員より指示し NJ 班前進  
させて対応。指揮班が前進し誘導操作開始。AM 班は待機。
- 14 : 43 目視確認できずロスト。全班警戒態勢。
- 14 : 44 指揮班、土手の手前でヒグマを視認。
- 14 : 45 AM 班に前進を指示。ヒグマとの距離が近いことから発砲不許可か再確認。→引き  
続き発砲不許可のため、クマスプレーを準備。
- 14 : 50 AM 班、ヒグマを目視。
- 14 : 52 ヒグマをロスト。宮下橋方面（警戒班、TH 班）もヒグマを視認できず。
- 14 : 57 ヒグマを発見、堤防から河川（上流方向）へ。ヒグマの土手越えに即して監視を  
TH 班に移行。TH 班ヒグマを目視。
- 15 : 00 TH 班、NJ 班の監視報告によりヒグマが土手から離れ流路に接近していることを  
確認。指揮班、AM 班とも土手に上がり監視。ヒグマの渡渉を待つ。車両を農村公  
園駐車場から宮下橋北詰へ回送させる。
- 15 : 03 TH 班は指示により次の監視ポイント[g]へ前進。ヒグマを目視。
- 15 : 07 ヒグマ、渡渉を始めるも流路半ばで引き返す。
- 15 : 09 ヒグマ、対岸へ到達。対岸土手を上がる[h]。指揮班側で監視引き継ぎ。ヒグマが  
対岸の 2 次配置へ移動開始。専門員から本部へ状況報告。本部が第一部終了を各  
局へ宣告
- 15 : 10 第一訓練終了宣言。各員は所定の経路でスキー場下[k]へ移動

### 3. 実地訓練 第二部（開始 15:25 終了 15:51）

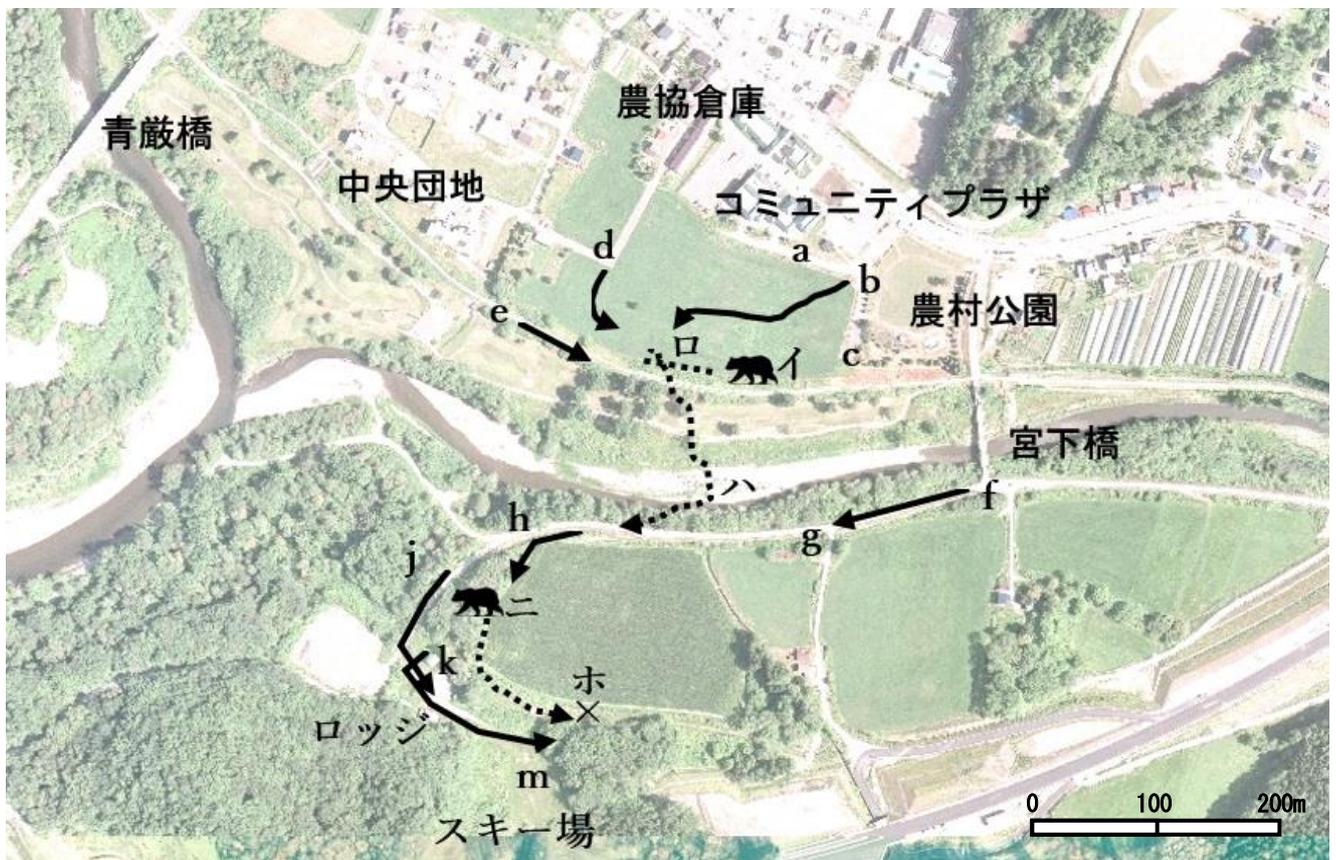
- 15 : 25 各員移動完了。訓練再開。従事者集合[k]。専門員より状況および対応方針を伝達。  
従事者が各配置へ散開。TH 班[h]、NJ 班（乗車）[h~j]、AM 班[j]、指揮班[k]

- 15 : 32 専門員より TH 班へ、ヒグマの捕捉を期してシカ柵沿いの前進を指示。発砲を可とする射線の範囲を指示。
- 15 : 35 TH 班がヒグマ目視[ニ]。無線で発砲可否照会。専門員より TH 班へ発砲指示。TH 発砲 1、ヒグマは被弾（判定）するも畑の外縁に沿いスキー場下へ逃走
- 15 : 36 指揮班より逃走する個体の所在を確認。TH 班へ発砲止めと前進を指示。発砲止め受領を確認。指揮班はスキー場へ前進。AM 班へ追求を指示。
- 15 : 41 指揮班がヒグマ[ホ]捕捉、専門員発砲 1。専門員より各局へ状況報告（目標沈黙）。従事者集合を指示。
- 15 : 50 従事者集合[m]の後、死亡確認の手順を伝達。専門員と従事者 KI で個体推定位置へ接近。他の従事者は援護態勢。止め差しのため従事者 KI 発砲 1。
- 15 : 51 専門員より各局へ死亡確認を伝達。脱砲確認を指示。本部より訓練終了を宣告各員へスキー場ロッジ前[k]へ集合を指示。

4. 総括（開始 15:56 終了 16:20）

- 15 : 56 ロッジ前にて集合[k]。専門員より訓練経過報告。  
酪農大講師、振興局課長ほか観覧者から講評
- 16 : 25 解散。以降報道各社の求めにより個別対応

実施区域全体地図



## 総括の際の質疑、意見等摘要

### 捕獲従事者

訓練ということもあり、出動予定のハンターが全員ほぼ同じ時間に到着となったが、本番ではバラつきが出てくる。実際の出動となった場合に最低何人必要ということは要求できる状態ではないので、何人ならこういう対応という想定が必要となる。

### 伊藤講師（ヒグマ）

対応側がヒグマを見失っているときも、ヒグマ役は藪の中からハンターの動きが見えており、色々な動作も試してみた。ハンターとの距離が数メートルといった状況で発見されずにいることもあり、ヒグマが急襲を意図した場合に危険な状況も考えられた。こういった訓練を行うことで危険な点を発見できる。今回の場合では藪が高いとヒグマの姿をすぐに見失ってしまうということがわかり、地域として草刈りを行うなど危険な状態を解消する等の改善策も練ることができる。

### その他

一般の見学者から手負い事態への対処について質問があり、専門員が回答した。上川総合振興局環境生活課長、北海道警察旭川方面本部職員からは、本訓練がよく参考になった旨の講評があった。富良野警察署地域課長からは実地訓練によって初めてヒグマ対応の現場感覚を得たことと、訓練の実現に当たり占冠村への謝意が示された。

## 結果の総括

本訓練は、村がこれまでに行ってきたヒグマ対応の能力を、訓練を通じてさらに高め、また内外に示したものと考えられる。今回の企画発案の目的は、こうした村の対応体制に北海道警察との連携を加え、現場の混乱の防止と円滑な緊急対応を図ることであり、この点についても両者の評価するところとなった。また緊急時の警職法の扱いについて、従来は富良野の署から派遣される相応の役職者の現場存在を必須条件とするものとみなしていたが、当該役職者が現場におらずとも、現場警察官との情報共有の上で、これを通じて命令を発することがあり得る旨、今回の訓練を経て確認された。

今後の訓練の取り組みとして、トマム地区や双珠別地区での侵入対応、森林作業員向けや、ヒグマに遭遇した個人の初期対応の訓練など、様々な需要、期待がある。関係者の協力を得て、実施していきたい。

## 仕様資機材

簡易デジタル無線 対応用 8（即応 4（林）、追加供給 4（総務）） 支援、傍受用 2（総務）  
省電力無線（林） 支援評価班用 3 模擬銃 7 丁 疑似発砲用雷管音源 7 ロケット花火  
本部用記録用紙 掲示用地図、受付用紙、配布資料 クマ扮装 クマ撃退スプレー

## 別紙資料

1. 実施状況写真
2. 案内資料（当日配布）

以上

別紙資料 1. 実施状況写真



コミュニティプラザホール会場全景



訓練要員紹介



概要説明（野生鳥獣専門員）



模擬農林課執務室（ヒグマ目撃通報入電）



ヒグマ確認作業状況



模擬ヒグマ出現状況



捕獲従事者の前進本部参集



前進本部の対応状況



警戒ポイントでの監視と連絡



模擬ヒグマ渡河直前の状況



ヒグマ誘導作業状況（ヒグマ渡河中）



捕獲従事者の中間打合せ（スキー場ロッジ前）



ヒグマの追跡状況（スキー場下）



ヒグマ捕獲作業状況（スキー場下）



訓練後総括実施状況（スキー場ロッジ前）

令和 6 年 6 月 12 日

占冠村ヒグマ市街地侵入対応訓練（令和 6 年度第 1 回）ご観覧の皆様へ

このたびは本村の標記訓練にご臨席くださいまして、誠にご足労様です。ご観覧いただきますに当たり、以下の点についてご承知くださいますよう、よろしくお願いいたします。

#### 占冠村のヒグマ対応体制

本村は野生鳥獣対応の主管部門である農林課が野生鳥獣専門員を擁し、村単体で様々な施策の企画、実行を可能としています。ヒグマへの対応は北海道の管理計画に準じ、問題の種類と程度に応じて個体ごとの実施を旨とし、専門員を中心に個体識別から捕殺や追い払いの要否判断、それらの実行までを一体的に行っています。ヒグマ対策を狩猟者個人や狩猟者団体に丸投げすることなく、村が責任をもって実施することで、協力を求める捕獲従事者らとの信頼関係を築いています。

#### 本訓練の目的

本村において続発するヒグマの市街地侵入に対し、村の対応能力を高め、またその対応方法について関係機関と共有を図るため、具体的な想定を設定した実地の模擬対応を実施します。いまの実施体制の実情について理解を深めるとともに、課題を探り、また今後の取り組みの方向性を考えるためのものです。

#### 本訓練の実施範囲

初期対応の中核となる占冠村農林課と村の捕獲従事者、占冠駐在所員の行動内容について実施します。実際の対応においては事態に応じて周辺の関係機関や住民の行動も要求されますが、今回の訓練においてはそれらへの伝達手順の確認に留め、動員はありません。

#### 本訓練の実施手順

模擬標的の動きによって想定が付与されます。村の野生鳥獣専門員が現地で指揮を執ります。対象個体を市街地から遠ざけることを主眼とする第一段階と、出現の機会を捉えて捕殺を図る第二段階に分けて実施します。野生鳥獣専門員と捕獲従事者らは模擬銃を携行します。

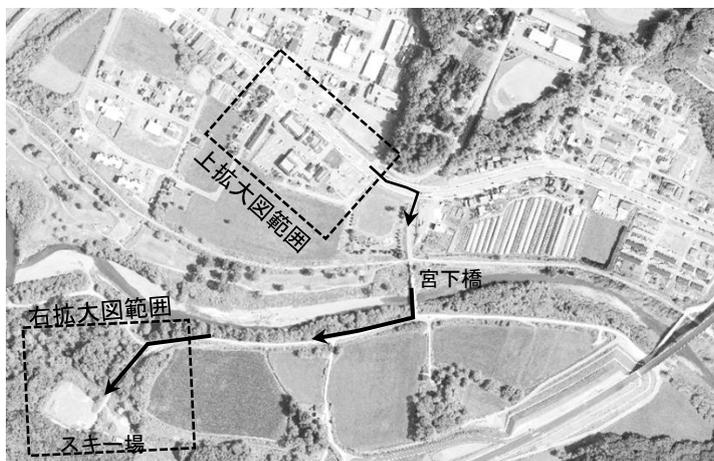
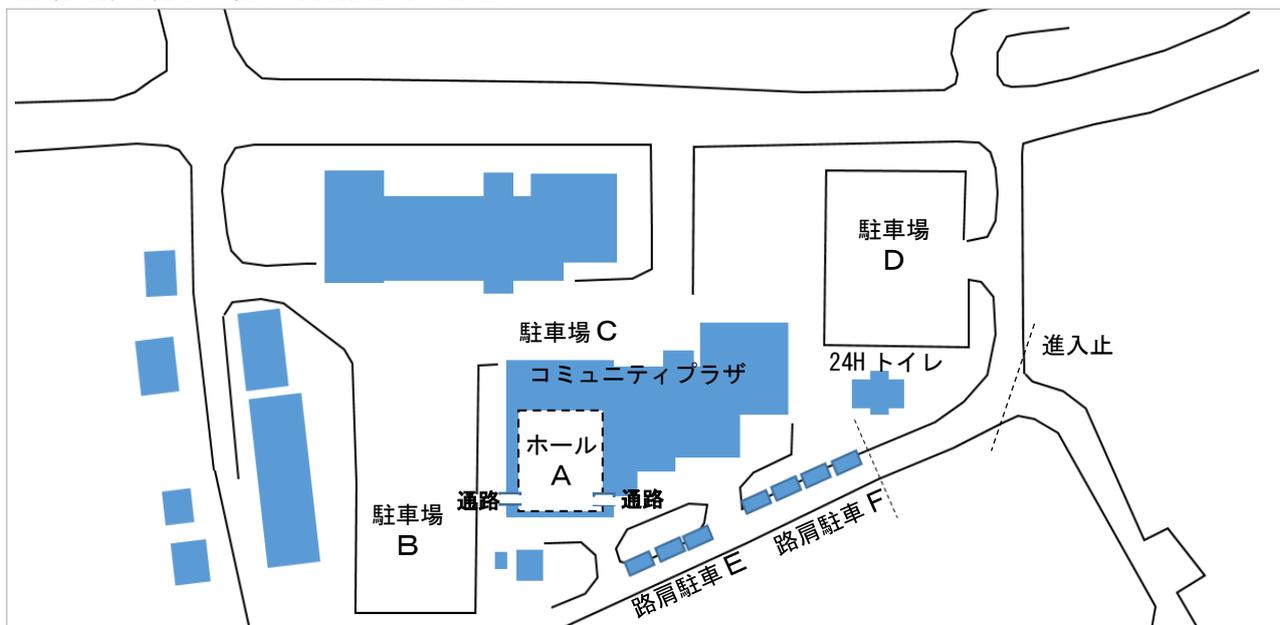
#### ご観覧に当たってのお願い

- ▲安全と周辺環境保全のため、ご観覧や駐車は指定の場所をお願いいたします。訓練の進捗に従い観覧場所の移動があります。案内の村職員がご案内します。（裏面をご参照ください）
- ▲写真や動画の撮影または録音等されます場合、個人情報保護にご留意ください。取得画像、音源等の用途は個人もしくは各機関内での研究等に留めてください。出版物、インターネット等への掲載、不特定多数に向けた放送、配信等についてはお問合せ下さい。
- ▲訓練実施区域は当日特段の立ち入り制限を行いません。訓練と無関係の人、車の行動があります。迷惑を生じぬようご配慮ください。
- ▲ヒグマを刺激せぬよう観覧中は静粛をお願いいたします。声援、ヤジはお気持ちだけ頂戴いたします。

実施項目	目安の時刻	観覧場所	進行時期	備考
開場・案内開始	13:00	コミュニティプラザ ホール	—	駐車場所は受付にて案内
事前説明開始	13:20	コミュニティプラザ ホール	—	図中A
情報受信訓練開始	13:55	コミュニティプラザ ホール	準備次第	
本部移動開始	14:10	24H トイレ裏村道へ移動	専門員現着次第	図中E または F
第一想定訓練開始	14:15	24H トイレ裏村道	配置次第	
訓練終了・本部移動	14:50	スキー場下駐車場へ移動	進捗次第	図中G または H
第二想定訓練開始	15:10	スキー場下駐車場	移動開始時に予告	
訓練終了・総括開始	15:30	スキー場下駐車場	進捗次第	図中H
解散・以後個別対応	16:00	スキー場下駐車場	進捗次第	
現地撤収刻限	16:30		終了次第	

進行予定表

※案内係の指示に従って行動してください



全体図



お問い合わせ先  
 占冠村役場 農林課 林業振興室  
 電話0167-56-2174